

令和4年度 第3回学校適正配置検討委員会 会議記録（要旨）

日時 令和5年1月30日（月） 午後6時00分～午後7時15分
場所 仙北市西木庁舎2階201会議室
出席 出席委員17名（欠席委員1名）

1 開会

2 仙北市教育長あいさつ

3 委員長挨拶

4 議 題

（1）学校適正配置方針（案）について

～事務局説明～

委員	「配慮が必要な事項」に「通学環境に関する整備」とあるが、安全を加え、「通学環境に関する安全と整備」としてはどうか。
委員長	安全はとても大事であり、そのように検討する。
委員	アンケートの自由記述で、生保内中の保護者が高い関心を持っていることが見える。西木地区は他の地域に比べて意見が少ないのが気になる。
委員	体育館は、学校開放によって地域で有効活用されている事も考慮していく必要がある。
委員	アンケートの自由記述に、桧木内地区では積極的に意見が書かれていないと感じたが、逆に言えば桧木内の住民は「もう限界なのではないか」という気持ちの表れではないかとも感じる。
事務局	学校適正配置方針（案）のサブタイトルについて、市民が学校適正配置方針の趣旨をイメージしやすいように、サブタイトルを付けたい。たたき台としてA案「地域とともに考える子どもたちの未来」とB案「未来を拓く子どもたちに充実した教育環境を」を示したが、ご意見・ご提案をいただきたい。
委員	もう少し柔らかい表現が良いと思う。例えば「仙北市のこれからを生きる子ども達へ」など、子ども達へ向けた思いを表してはどうか。
委員長	「仙北市のこれからを生きる子ども達へ」という新たな案をC案とし、意見を伺いたい。

委員 A・B案を作成した考えを聞かせて欲しい。

事務局 A案は、「地域とともに」を適正配置の1つのテーマとし、地域の思いを込めて進めるという意味で「地域とともに考える子ども達の未来」とした。
B案は、「充実した教育環境を未来を拓く子ども達につくっていききたい」という思いをそのまま表した。

委員 「生きる」という言葉を入れてはどうか。

委員 どちらかと言えばA案に惹かれるが、「こんな子ども達の姿」という子どもの姿が見える形の言葉があれば良いと思う。

委員 子ども達の未来を考えていくための方針なので、子ども達も理解できる文言で、子どもの姿が見えてより理解しやすい表現はないものか。

委員 A・B・C案のどれが良いかといえば、A案の方が柔らかい表現だと感じる。

委員 この3案の中ではA案が良い。ただ、子ども達の将来が見えるように少しアレンジして、子ども達にも分かりやすい形にできれば良い。

委員 私はA案が良いと思う。これから未来を一緒に考えていく方向性というのが、サブタイトルに一番合っている。

委員 サブタイトルに関しては、ある程度堅くても良いと思う。A案B案を一緒にして「未来を拓く子どもたちに充実した教育環境を地域とともに考える」としても良いと思う。

委員 2つの案を合わせるのには良いと思う。子ども達は地元・ふるさとに対しての意識が強いと思うし、そうした部分を「地域とともに」として組み合わせるとは思う。

委員 A案とB案を一緒にし、両方あっても良いと思う。

委員長 A案の方が多い気がする。この文言が、直接子ども達に触れるということはないと思われるし、今後いろいろな検討会等を経て成案となるので、多少堅い表現でも良いと思うがいかがか。

事務局	<p>先ほどから A 案を支持する意見が多く、B 案の「充実した教育環境を」は当然のことと考えれば、A 案の「地域とともに考える子ども達の未来」ではいかがか。</p> <p>(賛成の声)</p>
委員長	<p>賛成が多いので、A 案に意見集約する。</p>

(2) 今後の進め方について(説明)

～事務局説明～

(3) その他

～事務局説明～

委員	<p>スケジュールに関して、丁寧に進めていく必要があるのは分かるが、スピード感が求められることも想定した方が良いと思う。</p>
事務局	<p>今年も保護者や住民との意見交換を行うが、今年の出生数は70名程度という状況であり、更に加速度的な出生数の減少になった場合には、そのことも加味しなければいけないと感じている。</p>
委員長	<p>議事については以上で終了する。</p>

5 その他

6 閉会